



学校だより

後期学校評価特別号

令和6年2月9日(金)

野々市市立野々市小学校



学校評価に関するアンケート結果の報告

11月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」にご回答いただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。その結果を分析・考察することで、さらによりよい学校づくりに生かしていきたいと思っています。
★は児童アンケートにおける前期学校評価との比較です。
◎:よい ○:ややよい 一:同程度 △:ややよくない ▲:よくない

No.	対象者	評価内容	割合				結果			
			A	B	C	D	◎	○	一	△
1	児童	授業がわかる	57%	37%	4%	1%	57%	37%	4%	1%
2	児童	授業では、考えたことをノートなどに表現している。	60%	33%	5%	2%	60%	33%	5%	2%
	教職員	重点1に基づいて児童が考えたいように課題設定を工夫している。	42%	51%	2%	4%	42%	51%	2%	4%
3	児童	授業では、ノートや黒板、画面を指し示して話している。	42%	37%	16%	5%	42%	37%	16%	5%
	教職員	重点2に基づいて交流の際に根拠を指し示しながら表現させている。	47%	44%	4%	4%	47%	44%	4%	4%
4	児童	授業でクロームブックを使って情報を集めたり、まとめたりしている。	68%	25%	6%	2%	68%	25%	6%	2%
	教職員	クロームブックを活用して、考えを表現する授業を実施している。	18%	49%	24%	9%	18%	49%	24%	9%
5	児童	グー・ベタ・ピンで学習している。	26%	51%	18%	5%	26%	51%	18%	5%
	教職員	授業で姿勢を見取り、グー・ベタ・ピンの声掛けを徹底している。	42%	47%	7%	4%	42%	47%	7%	4%
6	児童	自分からあいさつやえしやくをしている。	57%	32%	8%	3%	57%	32%	8%	3%
	保護者	お子さんは自分から大人(家族や見守り隊、バスの運転手、地域の人等)にあいさつしている。	59%	35%	5%	2%	59%	35%	5%	2%
7	児童	廊下は走らず、右側を歩いている。	48%	40%	9%	3%	48%	40%	9%	3%
	教職員	廊下を走っている児童を止め、歩くよう指導している。	78%	22%	0%	0%	78%	22%	0%	0%
8	児童	友達をきずつけない温かい言葉で話している。	53%	37%	8%	2%	53%	37%	8%	2%
	保護者	お子さんに温かい言葉で接している。	30%	46%	20%	4%	30%	46%	20%	4%
9	児童	シャツを入れ、ズックをはいて、身なりに気をつけている。	78%	16%	4%	2%	78%	16%	4%	2%
	教職員	身だしなみ(シャツイン、ズックのかかと入れ)を見逃さず指導している。	60%	33%	7%	0%	60%	33%	7%	0%
10	児童	係や当番、委員会などの仕事に、自分から進んで取り組んでいる。	63%	31%	5%	1%	63%	31%	5%	1%
	教職員	児童が学校や学級をよりよくなるようとしている姿(係、当番、委員会、クラブ、友達へのかわり、お手伝い等)を見つけて、ほめている。	73%	24%	2%	0%	73%	24%	2%	0%
11	児童	学校は楽しい。	63%	23%	9%	5%	63%	23%	9%	5%
	保護者	お子さんは、楽しそうに学校に通っている。	86%	11%	3%	1%	86%	11%	3%	1%
12	児童	自分にはよいところがあると思う。	50%	35%	9%	7%	50%	35%	9%	7%
13	保護者	お子さんは朝ご飯を食べている。	50%	49%	1%	0%	50%	49%	1%	0%
14	保護者	学校は、学校だよりや学校公開等を通じて、「地域と共にある学校づくり」に努めている。	31%	62%	6%	0%	31%	62%	6%	0%

A あてはまる
B だいたいあてはまる
C あまりあてはまらない
D あてはまらない

★	取り組みの様子
-	どの児童も授業の最後まで意欲的に取り組めるように、解決したくなるような学習問題を設定したり、児童一人一人の学習状況に寄り添いながら指導や支援を充実させたりして取り組んでいます。また、子どもたちが主体的に学習を進めている授業に取り組んでいます。
-	児童の「書く」力を高めるために、ノートの書き方を指導します。モデルになる書きぶりのノートを紹介し、また、ノート以外の表現方法にも取り組んでいます。
-	根拠を指し示して表現することができるように、学級全体だけではなくペアの場でも促進していきます。そして、指し示して説明できたことやその努力の過程・変容を積極的に認め、褒めています。
-	端末を使用することについては一定の成果が見られました。今後は、使用の質の向上を目指すことと、学年に合った使用の仕方について整理して、効果的な活用をさらに進めていきます。
-	グー・ベタ・ピンとは授業中の姿勢を表す学校の中での言葉です。 グー:机と体の感覚が握りこぶし1つ分 ベタ:足の裏を床につける ピン:背筋をのばす 後期はグー・ベタ・ピンに対する意識は横ばいでした。姿勢が学習に及ぼす効果から大切さを確認し、姿勢を整えることへの意識向上を図っていきます。
-	2学期に実施した生活委員会の「あいさつの木」の取り組みでは、素直なあいさつができていた児童は学年によって差がありました。心と同じようにあいさつの良し悪しには波があります。それらに全職員が敏感になり、日々声かけを続けており、職員、児童委員会で取り組みも行っていきます。また、これまでに引き続き、ご家庭の方でも家族とのあいさつ、出かけた先でのあいさつなど、習慣化が図られるようお声掛けをお願いします。
△	廊下歩行のルールを守れている児童が減少しています。廊下の歩行は安全な学校につながるものなので、走らず歩くことを粘り強く指導します。
-	低学年で改善の傾向が見られました。他の学年では、さらに指導を徹底する必要があります。児童の様子を丁寧に見取りながら指導を行うとともに、3学期のいじめアンケートの結果から検証を行っていきます。また、これまでに引き続き学校外で児童が触れる言葉については、是非ともご家庭の理解と協力をお願いします。
-	個別の指導を細かく行っています。また、学習スタートの際などの節目で、日々の生活の中で身なりを一人一人が確認できる場をつくっていきます。
-	これまでに引き続き、定期的に、学級で係や当番の仕事をふり返り、認め、次の活動に生かす機会をつくっていきます。また、学級や校内放送などで児童のがんばりを褒めたり、お互いに認め合ったりする場を設けていきます。
-	学校生活、行事等で、他者とよりよく関わり合える場を保障していきます。また、これまでに引き続き、日頃からの児童の観察や聞き取りと理解を行います。さらに、のこのアンケート等で児童の心に寄り添った相談に努めます。
-	これまでに引き続き、児童相互でやさやかなりばりを認め合ったり、たまたまあったりできる場面を設定していきます。また、教師は児童と積極的な関わりを持ち、できたこと(結果)やがんばったこと(経過)を時間を空けずに具体的に伝えていきます。
-	児童にのぞましい生活習慣が身につくように、ご家庭と学校とで連携した働きかけをお願いいたします。 今後学校だよりや学校ホームページによる情報提供、学校公開等を継続していきます。